がんばれやいた！

No.7 応援大使

相樂　亨 さん
Toru Sagara

1976 年壬生町生まれ。矢板市在住のサッカー審判員。元 FIFA（国際サッカー連盟）国際副審。2018 年、やいた応援大使に就任。

2007 年　Ｊリーグ優秀副審賞
2009 年　プロフェッショナルレフリー登録
2010 年　アジア年間最優秀アシスタントレフリー
2010 年　FIFA ワールドカップ（南アフリカ）審判団
2012 年　ロンドンオリンピック　サッカー審判団
2014 年　FIFA ワールドカップ（ブラジル）審判団
2016 年　リオデジャネイロオリンピック　サッカー審判団
2017 年　FIFA U-17 ワールドカップ（インド）審判団
2018 年　FIFA ワールドカップ（ロシア）審判団

●サッカー審判員を目指したきっかけは？

プロサッカー選手への道は難しいと感じていた高校時代に、監督が審判を務めるＪリーグの試合に担架要員として参加しました。ちょうどＪリーグが開幕した時期で、海外からワールドクラスの選手が続々と来日していました。その際、当時浦和レッズに所属していた元ドイツ代表・ブッフバルト選手を運び、その体格の大きさに驚いたことを覚えています。そうした舞台で笛を吹く監督の姿に感銘を受け、私も国際審判を志すようになりました。

●印象に残っている試合や経験は？

数々の試合を経験しましたが、特に忘れられないのは 2010 年南アフリカワールドカップ決勝戦と 2014 年ブラジルワールドカップ開幕戦です。

南アフリカワールドカップ決勝では、予備の審判としてピッチサイドに立ち、試合を観戦していました。イニエスタ選手の決勝ボレーシュートに感動し、今もその光景が鮮明に焼き付いています。日本人としても初となる審判を務めることになったブラジルワールドカップ開幕戦では、サンパウロのスタジアムに集まった 8 万人の大観衆が歌うブラジル国歌の迫力に、思わず鳥肌が立ちました。ネイマール選手の活躍でブラジルが勝利しましたが、そのブラジル代表の選手たちからも緊張が伝わってきたのが印象的でした。世界最高峰の舞台で味わったこの緊張感は、私の審判人生の大きな財産です。

▲南アフリカワールドカップ決勝控室の様子

●おすすめしたい矢板市の魅力は？

休日が少ない生活ですが、時間があれば長峰公園を走り、階段を駆け上がった先に広がる市内の景色に力をもらっています。「まことの湯」の温泉や「ともなりそば処 信生庵」のそば、「くじら亭」の焼き鳥も大好きです。

●現在のお仕事や活動について

サッカーの審判は選手並みに走るため、おおむね 45 ～ 50 歳で引退を迎えます。私は 5 年前に現役を退き、現在は東京の大手法人で税理士として働いていますが、休日にはＪリーグや栃木県内で若手審判の育成に携わっています。

現役時代には市民の皆さんから多くの声援をいただき、本当に感謝しています。私の夢は、矢板市から国際主審を輩出すること。ワールドカップの舞台で、矢板ゆかりの審判がイエローカードを掲げる姿を見られたらと願っています。

矢板にはこれまでのサッカーの輝かしい歴史に加え、矢板中央高校の大活躍やフットボールセンターの誘致成功など、世界に誇れるサッカー文化があります。ぜひイングランドのマンチェスターのようなまちになってほしいと思っています。やいた応援大使として、未来の選手や審判の育成を通じて「サッカーのまち矢板」をさらに広め、市を盛り上げていきたいです。

問い合わせ／秘書広報課　☎（４３）３７６４

▲ブラジルワールドカップ開幕戦の様子

矢板市 生涯学習フェスティバル 2025

11/16 SUN 開催決定

ワクワクを一緒に！ みんなで作り上げる生涯学習フェスティバル通信　vol.1

文化スポーツ複合施設ととちぎフットボールセンターを貸し切り、会場もプログラムもパワーアップして開催することが決まった生涯学習フェスティバル。当日、たくさんのワクワクと笑顔に出会えることを楽しみに、現在全力で準備を進めています。今号では、出演が決定したステージアーティストを紹介します。

Duo「山﨑」
津軽三味線 小山流師範　山口 理貴さん
アコースティックギタリスト　岩﨑 和広さん

昨年は、オープニングアクトを務めたほかダンサー清楓（さやか）さんや矢板東高校書道部とのコラボなど、私たちの音楽がさまざまな方の生活や表現に活用いただけたことが、まさに本望で、とてもうれしく、楽しい時間を過ごしました。また、老若男女を問わず、多くの方が楽しんでいたのが印象的です。今年はミニライブも予定しています。ぜひ会場にお越しいただき、生の表現や活動に触れてほしいです。私たちも矢板市の皆さんの活力を感じながら、演奏に努めたいと思います。

山﨑OP

ハウスダンサー 加納 清楓さん

８月に出場した世界大会でトップ８の結果をいただきました。市からは応援グッズとして「生涯学習フェスティバルけん玉 清楓バージョン」をいただき、一緒にイギリス・ブラックプールへ。世界のトップダンサーたちがけん玉に夢中になり、大いに盛り上がりました。会場の警備員に何度も怪しまれましたが、最後には「けん玉を持ち歩く愉快な日本人ダンサー」として認識され警備員もけん玉にチャレンジ。けん玉には国境や言葉をも超えて人をつなげる力がありました。世界で、全国で受けた刺激を自分らしいステップに変え、皆さんを魅了できるダンサーを目指しています。当日は一緒に楽しみましょう！

清楓×けん玉

10 月 13 日まで、募集中！
中高生ボランティアスタッフ

申込フォーム

運営に参加するワクワクや来場者とのつながりなど、楽しみ方はあなた次第。イベントにあなたらしさを添えて盛り上げましょう。申し込みはこちらから。

ピアニスト 井上 千裕さん
ピアニスト 曽田 響さん

皆さん、こんにちは。ピアニストの井上 千裕です。昨年はたくさんのお客様に温かい拍手をいただき、幸せな時間を過ごすことができました。今年も出演の機会をいただけたこと、とてもうれしく思っています。今回は武蔵野音楽大学時代の同期・曽田 響さんと共に連弾に挑戦します。皆さんと一緒に楽しいひとときを過ごせるよう、現在、心を込めて練習に励んでいます。